

# 千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト

## 1 目的

千葉県が主催する「千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト」の運営により、バイオマス事業化に向けた県試験研究機関、県内大学・企業等による共同研究などの取組みを支援し、併せてバイオマス関係機関等の交流・ネットワーク化を図ることで、バイオマスを利活用する地域資源循環モデルの創出を促進する。

## 2 プロジェクトの概要

資源化されにくい農林系木質バイオマス（被害材、製材残材、樹皮、竹材、せん定枝など）の利活用を促進するため、平成19年度から研究対象を拡充することとし、「高機能炭化技術」及び「木質プラスチック化技術」による新用途開発研究と事業化に向けた取組みへの支援を行う。このため、同プロジェクトに2つの部会を設けることとし、関係する県試験研究機関の協力により部会運営を図るものとする。

### (1) 木質プラスチック部会（平成19～22年度）

農林系木質バイオマスを原料に利活用する木質プラスチック化技術の導入による地域資源循環システムの構築に向けた製品開発等の共同研究及び千葉産木質プラスチックの普及啓発を推進する。

### (2) 高機能木炭部会（平成16～20年度）

サンブスギ溝腐病被害木などの未利用木質バイオマスから高機能木炭を生産し、その機能を活かした木炭の新用途開発及び普及の促進を図る。

## 3 組織運営

### (1) プロジェクトの運営

同プロジェクトの運営は県バイオマスプロジェクトチームが対応し、支援に必要な予算措置、大学との委託契約事務及び同プロジェクトの総括を担う。

### (2) 部会の運営

各部会の事務局運営は、農林水産部担い手支援課及び商工労働部産業振興課と調整のうえ、県試験研究機関が担当する。

#### ア 事務局（県試験研究機関）

木質プラスチック部会 : 千葉県産業支援技術研究所

高機能木炭部会 : 千葉県農林総合研究センター森林研究所

#### イ 事務局の業務

部会の開催 年2回程度（研究計画等の企画調整、研究成果報告）

共同研究等への支援

用途開発や地域モデル事業化などの取組みを推進し、試験資材加工や分析の委託、用途開発や基礎的評価等に係る試験研究を支援する。

研究成果報告書の作成

研究成果は、部会毎に経過年度末の「中間報告書」を作成し、事業終了年度末には「事業成果報告書」を編集・発行する。